

(24)

II 昭和26年1—6月人口動態

第1表 昭和26年1—6月人口動態

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	1—6月	1—12月
出生								
昭26	260,259	208,334	204,990	176,700	161,377	150,819	1,162,479	*2,239,000
25	258,135	221,843	217,517	189,292	173,098	163,529	1,223,414	2,356,856
24	322,478	241,501	246,741	218,543	201,362	187,434	1,418,059	2,696,638
23	319,851	257,255	252,681	219,661	197,430	184,956	1,431,834	2,681,624
22	295,465	226,018	235,891	209,159	195,574	194,633	1,356,740	2,678,792
死亡								
昭26	96,982	78,370	78,155	68,719	66,368	61,579	450,173	*871,000
25	91,526	81,745	89,367	71,635	69,296	66,346	469,915	908,801
24	86,133	77,276	89,553	83,699	78,121	74,047	488,829	945,444
23	93,717	88,435	90,876	78,832	74,316	75,385	501,561	950,610
22	109,940	115,405	116,996	99,403	92,456	84,516	618,716	1,138,238
自然増加								
昭26	163,277	129,964	126,835	107,981	95,009	89,240	712,306	*1,369,000
25	166,609	140,098	128,150	117,657	103,802	97,183	753,499	1,448,055
24	236,345	164,225	157,188	134,844	123,241	113,387	929,230	1,751,194
23	226,134	168,820	161,805	140,829	123,114	109,571	930,273	1,731,014
22	185,525	110,613	118,895	109,756	103,118	110,117	738,024	1,540,554
死産								
昭26	19,423	18,752	20,534	17,809	17,772	15,504	109,794	*224,000
25	17,471	17,753	19,913	18,060	17,591	15,578	106,366	216,982
24	14,851	14,144	16,085	15,578	16,214	14,745	91,617	192,677
23	12,509	12,151	12,308	11,221	11,389	10,403	69,981	143,963
22	10,071	9,772	10,299	9,440	9,882	9,218	58,682	123,837
乳児死亡								
昭26	17,353	15,957	14,709	11,076	9,374	8,071	76,540	*128,000
25	19,553	16,878	16,676	11,464	10,233	9,400	84,204	141,003
24	19,651	17,243	18,910	15,949	13,703	12,073	97,529	168,467
23	20,845	19,556	18,344	13,385	11,305	11,397	94,832	165,406
22	21,088	24,154	23,936	17,965	15,096	13,816	116,055	205,360
婚姻								
昭26	58,366	63,379	68,461	62,994	73,438	51,170	377,808	*663,000
25	67,201	73,552	77,263	67,193	70,918	52,283	408,410	717,069
24	82,387	91,858	89,802	84,928	82,923	60,917	492,815	842,170
23	70,456	94,396	106,047	102,346	94,569	71,040	538,854	953,999
22	70,965	72,762	84,012	74,741	111,959	81,021	495,460	934,170
離婚								
昭26	6,164	6,725	7,892	6,289	7,718	6,350	41,138	*83,000
25	5,890	6,887	7,853	7,157	7,625	6,270	41,682	83,864
24	6,252	7,089	7,696	7,136	7,229	5,945	41,347	82,575
23	3,779	6,218	7,592	7,246	7,423	6,032	38,290	79,032
22	6,415	5,997	7,049	6,541	7,818	5,979	39,799	79,551

* は昭和25年の季節変動による推計 備考 (25頁) 参照

第2表 昭和26年人口動態の推計

年	次	出生	死亡	自然増加	死産	乳児死亡	婚姻	離婚	婚
** 昭	和 26 年	26.49	10.30	16.19	90.9	5.72	7.85		0.98
昭	和 25 年	28.33	10.92	17.41	84.3	5.98	8.62		1.01
昭	和 24 年	33.17	11.63	21.54	66.7	6.25	10.36		1.02
昭	和 23 年	33.43	11.85	21.58	50.9	6.17	11.89		0.99
昭	和 22 年	34.30	14.57	19.73	44.2	7.67	11.96		1.02
昭	和 8—12年平均	30.78	17.43	13.35	50.8	10.62	8.02		0.69

** 第1表の人口動態実数に基づいて算定、ただし基礎人口は人口問題研究所において算定の推計人口による。乳児死亡率は出生100について、死産率は出産(出生+死産)1,000について、その他は人口1,000についての率。

備考 資料の出所:—

- I, A, 第1—3表……総理府統計局「昭和25年国勢調査10%抽出集計による結果速報, その2, 全国人口の年齢及び配偶関係」昭和26年10月19日(国速B—2)による。
 I, A, 第4表……総理府統計局「昭和25年国勢調査10%抽出集計による結果速報, その1, 全国人口の国籍又は出身地」昭和26年9月21日(国速B—1)による。
 I, B, 第1表, 第3表……総理府統計局「昭和25年国勢調査10%抽出集計による結果速報, その2, 都道府県及び六大都市別人口の年齢及び配偶関係」昭和26年10月19日(国速BP—2)による。
 第2表……第1表に基づき人口問題研究所において算定した。
 第4表……総理府統計局「昭和25年国勢調査10%抽出集計による結果速報, その1, 都道府県及び六大都市別人口の国籍又は出身地」昭和26年9月21日(国速BP—1)による。
 II, 第1表……厚生大臣官房統計調査部「人口動態統計毎月概数, 昭和26年6月」昭和26年10月による。
 第2表……第1表に基づき人口問題研究所において算定した。

抽出集計の結果数字の信頼性:

Iの各表の実数は、すべて抽出集計に基づき推計数であるから、いわゆる標本誤差を含んでいる。(ただし全国総人口、市部及び郡部の総人口のみは確定数を千単位で示したもので推計数ではない。)一般的に言えば、この標本誤差は小さな推計数字に対するものほど大きく、大きな推計数字に対するものほど小さい。次表は種々の大きさの推計数字に対する標本誤差の大体の大きさを示すものである。推計数字と悉皆集計すれば得られるであろう値との差が標準誤差以内になる確率は3分の2であり、標準誤差の2倍以内になる確率は20分の19である。

a—1表 全国の男女年齢別人口及び配偶関係別人口の標準誤差 (I, A, 第1—3表)

推計数の大きさ	標準誤差		標準誤差の2倍	
	実数	その推計数に対する割合	実数	その推計数に対する割合
80,000,000	160,000	0.2%	320,000	0.4%
50,000,000	100,000	0.2	200,000	0.4
30,000,000	60,000	0.2	120,000	0.4
20,000,000	60,000	0.3	120,000	0.6
10,000,000	30,000	0.3	60,000	0.6
5,000,000	15,000	0.3	30,000	0.6
3,000,000	9,000	0.3	18,000	0.6
2,000,000	6,000	0.3	12,000	0.6
1,000,000	4,000	0.4	8,000	0.8
500,000	2,000	0.4	4,000	0.8
300,000	1,800	0.6	3,600	1.2
200,000	1,200	0.6	2,400	1.2
100,000	800	0.8	1,600	1.6
50,000	500	1.0	1,000	2.0
30,000	450	1.5	900	3.0
20,000	400	2.0	800	4.0
10,000	300	3.0	600	6.0
5,000	250	5.0	500	10.0
3,000	180	6.0	360	12.0
2,000	160	8.0	320	16.0
1,000	150	15.0	300	30.0

a-2表 全国の国籍又は出身地別人口の標準誤差 (I, A, 第4表)

推計数の大きさ	標準誤差		標準誤差の2倍	
	実数	その推計数に対する割合	実数	その推計数に対する割合
80,000,000	160,000	0.2%	320,000	0.4%
40,000,000	120,000	0.3	240,000	0.6
15,000,000	45,000	0.3	90,000	0.6
600,000	12,000	2.0	24,000	4.0
200,000	6,000	3.0	12,000	6.0
100,000	4,000	4.0	8,000	8.0
50,000	2,500	5.0	5,000	10.0
10,000	800	8.0	1,600	16.0
5,000	500	10.0	1,000	20.0

a-3表 全国の本邦在籍者の男女年令別人口の標準誤差 (I, A, 第4表)

推計数の大きさ	標準誤差		標準誤差の2倍	
	実数	その推計数に対する割合	実数	その推計数に対する割合
80,000,000	160,000	0.2%	320,000	0.4%
40,000,000	120,000	0.3	240,000	0.6
20,000,000	60,000	0.3	120,000	0.6
10,000,000	30,000	0.3	60,000	0.6
5,000,000	20,000	0.4	40,000	0.8
2,500,000	12,000	0.5	24,000	1.0
1,000,000	5,000	0.5	10,000	1.0
500,000	3,000	0.6	6,000	1.2
250,000	2,300	0.9	4,600	1.8

b表 都道府県に対する乗数

都道府県	乗数	都道府県	乗数	都道府県	乗数
北海道	4.0	富山県	8.5	鳥取県	10.0
青森県	8.0	石川県	8.5	島根県	9.0
岩手県	8.0	福井県	9.0	山口県	6.5
宮城県	7.0	山梨県	9.5	広島県	5.5
秋田県	8.0	長野県	6.0	徳島県	7.0
山形県	7.5	岐阜県	6.5	香川県	9.5
福島県	6.0	静岡県	6.0	愛媛県	9.0
茨城県	6.5	愛知県	4.5	高知県	7.0
栃木県	7.5	三重県	7.0	福岡県	8.5
群馬県	7.0	滋賀県	9.0	佐賀県	5.0
埼玉県	6.0	京都府	5.5	熊本県	9.5
千葉県	6.5	大阪府	4.5	熊谷県	7.0
東京都	3.5	兵庫県	4.5	大分県	7.0
神奈川県	5.5	奈良県	9.5	宮崎県	8.0
	5.5	和歌山県	8.5	鹿児島県	8.5
				鹿児島県	6.5

また I, B, 第1, 3, 4表の各都道府県の数字に対する標準誤差を求めるにはまずそれぞれの項目に関する全国推計数の変異係数(標準誤差の推計数に対する割合)をa表から求める。これに上のb表の乗数を乗じてその都道府県の変異係数を求め、各都道府県の推計数にこの変異係数を乗ずれば標準誤差が得られる。たとえば、北海道の0-4才人口667,000の標準誤差を求めるには、同年令階級の全国推計数11,203,000の変異係数をa-1表で見出し(0.3%)この変異係数にb表による北海道の乗数4.0を乗じて北海道の変異係数1.2%を得る。この変異係数を北海道の0-4才人口667,000に乗ずれば標準誤差の実数8,000が得られる。また推計数はすべて4捨5入して千位にとどめてあるから、個々の数字を合計しても必ずしも総数に合わない。500未満の推計数は「0」とし、500以上1,500未満は「1,000」としてある。実数の性質上、割合についても個々の数字を合しても総数に合わない場合がある。なお割合のうち「0.0」は0.005未満を示している。なお標本抽出の方法、調査の範囲等については上記の資料を参照のこと。